



# 読み聞かせ隊が行くⅣ



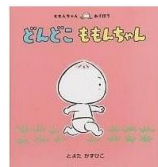
青森中央高校読み聞かせ隊による実演  
『なつのおとずれ』 かがくいひろし

## 高校生のための 読み聞かせボランティア講座

日時 令和元年8月11日(日) 10:00~15:30  
 場所 青森県総合社会教育センター 第1研修室  
 主催 青森中央高校読み聞かせ隊  
 青森大学読み聞かせサークル  
 協力 青森南高校JRC部



講演 「『でんしゃにのって』青森から仙台へ go！」  
 講師 絵本作家 とよた かずひこ 氏



講演 「高校生が地域貢献活動をすることの意義、楽しさ」  
 講師 青森大学社会学部 教授 櫛引 素夫 氏

東奥日報 2019.8.12

## 子どもの笑顔 やりがい



### 青森中央高と青大

メンバーは、保育園や幼稚園の園児らを対象とした

「読み聞かせ」の魅力伝える  
 高校生に読み聞かせボランティアの楽しさを知ってもらうための講座が11日、青森市の県総合社会教育センターで開かれた。青森中央高校と青森大学で活動に携わるメンバーが初めて企画。「子どもたちが喜んでくれる楽しさを知ってほしい」。ピアノやダンスを交えた読み聞かせを実演し、やりがいを伝えた。

(古川路子)

読み聞かせ会を定期的に市民図書館などで開き、絵本の楽しさを伝えている。今回、一緒に活動する仲間を増やそうと市内の高校に呼び掛け、高校生や社会人ら約30人が参加した。実演では3~4人で登場人物を分担。抑揚を付け、ピアノの伴奏も入れながら情感たっぷりに絵本を読み上げた。音楽に合わせてゆるキャラとダンスをしたほか、絵本作家による講演も行った。参加した青森東高校1年の天野流空さんは「童心に帰ることができて楽しかった。子どものために協力したい」と語った。

青森中央高校在学中から活動を続け、青森大学入学後に読み聞かせサークルを結成した2年の須藤芹菜さんは「まず自分自身が楽しむことが一番大事。ボランティアを通して、誰かの役に立てる喜びを知ってもらいたい」と呼び掛けた。

読み聞かせボランティアはもとも、同大社会学部の秋田敏博教授が青森中央高校教頭だった2014年から始めた。秋田教授は「子どもの笑顔や歓声など反応がストレートで返ってくるので、やりがいがある。保育士や地域の人たちと触れ合う機会もあり、授業では学べないことが経験できる」と読み聞かせの魅力を話した。



青森大学 2年  
須藤芹那(読み聞かせ隊 OG)



読み聞かせワールドカフェ

